

---

# 望み

ルエル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
望み

【コード】  
N30880

【作者名】  
ルエル

【あらすじ】  
彼らへの想い、そして自分の気持ちと望み

「部長さん、病院行くとか言って帰っちゃったよー」

唐突に放たれた言葉。

誰の事を言っているのかわかった時、ちよっぴり嬉しかったりした。  
『今日、彼女がいないのなら少しだけでも一緒にいれるかな。』なんて思ってた。

でも。キミは少し寂しそうで、つまらなそうだった。

「遅れましたー」

多目的室に響く声。

入り口には、彼女が立っていた。

『あ……来ちゃった… ちよつと期待してたのに』そう思った。  
だけど、それと同時に浮かぶモノ。

嬉しそうなキミの顔と別の考え。

『彼女が来たのを知ったら彼は喜ぶかな。』

…あ、れ？何でこんな考えが出てきたんだろう…？  
楽しそうにする2人を見たくないはずなのに。

パソコン室にいたキミ。

「彼女が来たよ！」

そう伝えると、すぐに廊下へ行ったキミ。

その顔は、とても嬉しそうで、輝いていた。

ああ。どこまでも予想通り。たまには、外れてくれないかなあ。

一度、止めた行動。

でも、気が付くとキミに伝えていた。

何で、伝えたんだろう…？自分に良いことなんてないのに。

でも、キミの笑顔を見て嬉しくなった自分もいた。

自分は、一体何を望んでいるのだろうか？

自分で自分がわからなくなる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3088o/>

---

望み

2010年10月15日22時20分発行